

2022年度（2023年3月期）決算説明会

2023.5.19



1. 2022年度業績

(1) 決算ハイライト	...	4
(2) 業績ハイライト (受注高・売上高)	...	5
(3) 業績ハイライト (営業利益)	...	6
(4) 業績ハイライト (セグメント別状況)	...	7

2. 2023年度通期計画

(1) 計画サマリー	...	9
(2) 計画サマリー (セグメント別状況)	...	10

3. セグメント別取り組み

(1) 通信キャリア	...	12
(2) 都市インフラ	...	14
(3) システムソリューション	...	17

4. 企業価値の向上を目指して

(1) 企業価値の向上に向けて (ROEの向上)	...	21
(2) M&Aの取り組み	...	22
(3) キャッシュアロケーション方針	...	23
(4) ESG経営の実践	...	24

5. 株主還元

(1) 配当、自己株式取得	...	30
(2) 総還元額、ROE・EPS	...	31

6. トピックス

(1) ニュートラルホスティングの拡大	...	33
(2) DfMA工事への取り組み	...	34
(3) 技能五輪全国大会予選会で世界記録更新	...	35

1. 2022年度業績

売上高は6,276億円と過去最高を更新、繰越工事高も過去最高に

営業利益は325億円と減益となるも23年度は回復へ

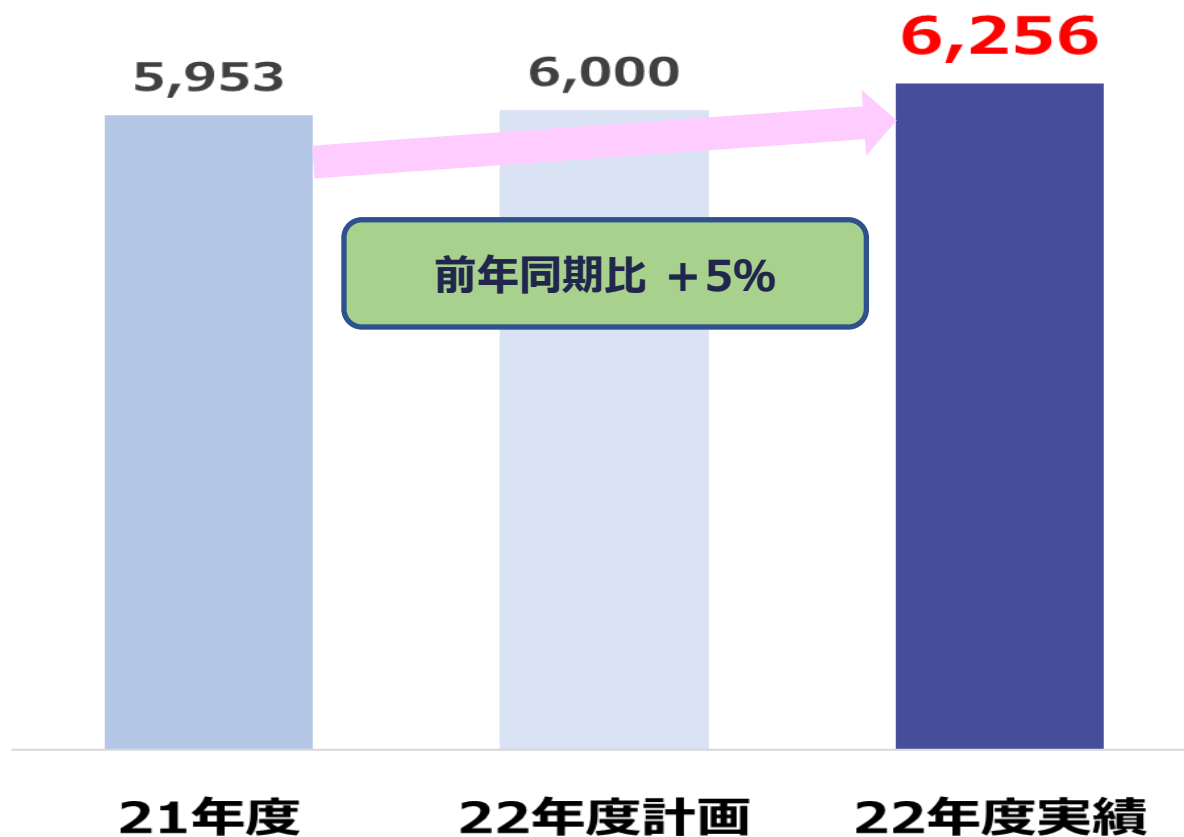
配当水準をDOE4.0%に引き上げ、年間配当120円へ

自己株式取得30億円公表、継続的に還元を実施

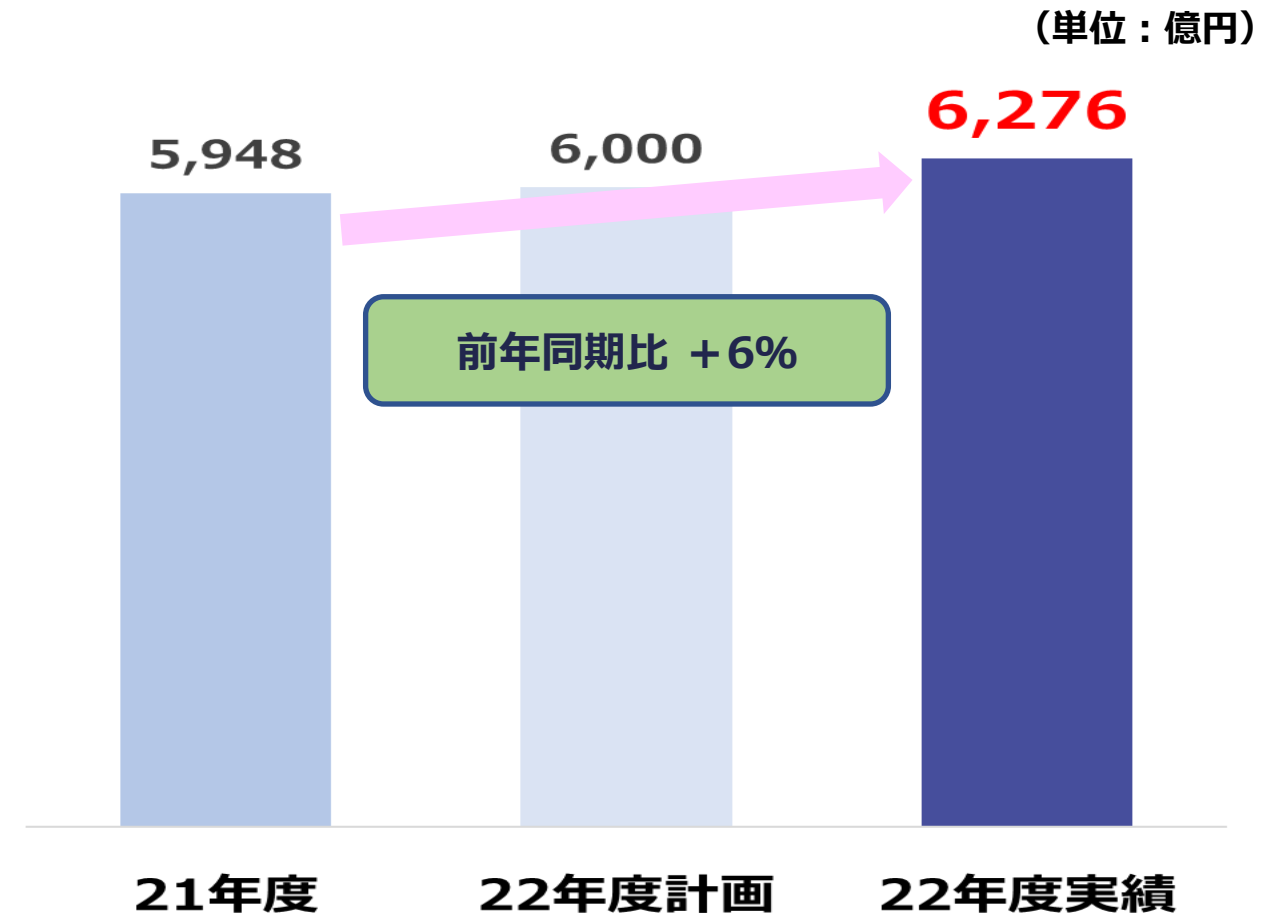
／（２）業績ハイライト（受注高・売上高）

過去最高の売上高を更新。受注高も過去最高に匹敵する高水準に

■ 受注高



■ 売上高

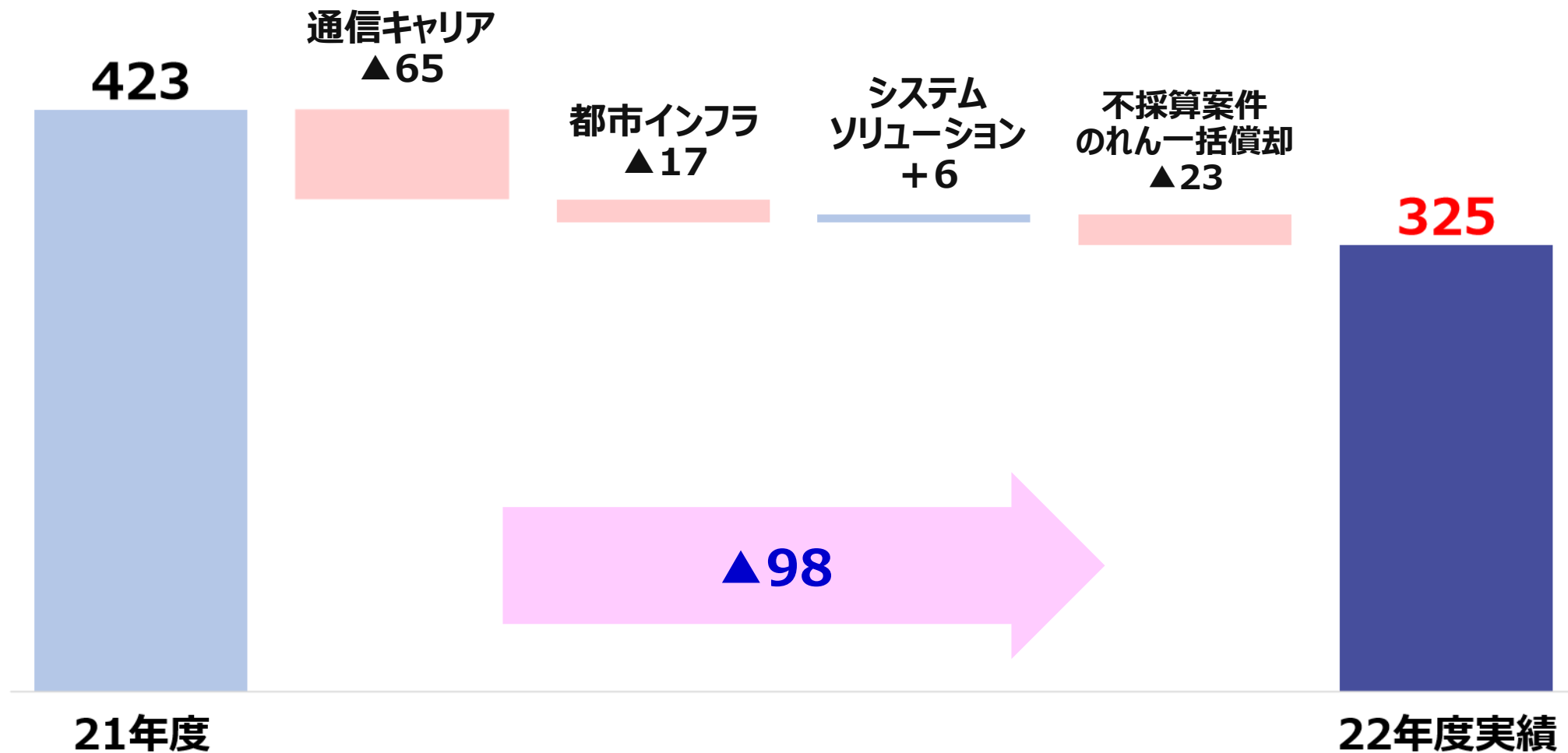


／ (3) 業績ハイライト (営業利益)

モバイルキャリアの投資抑制や、一過性の不採算案件の発生・のれん一括償却により減益

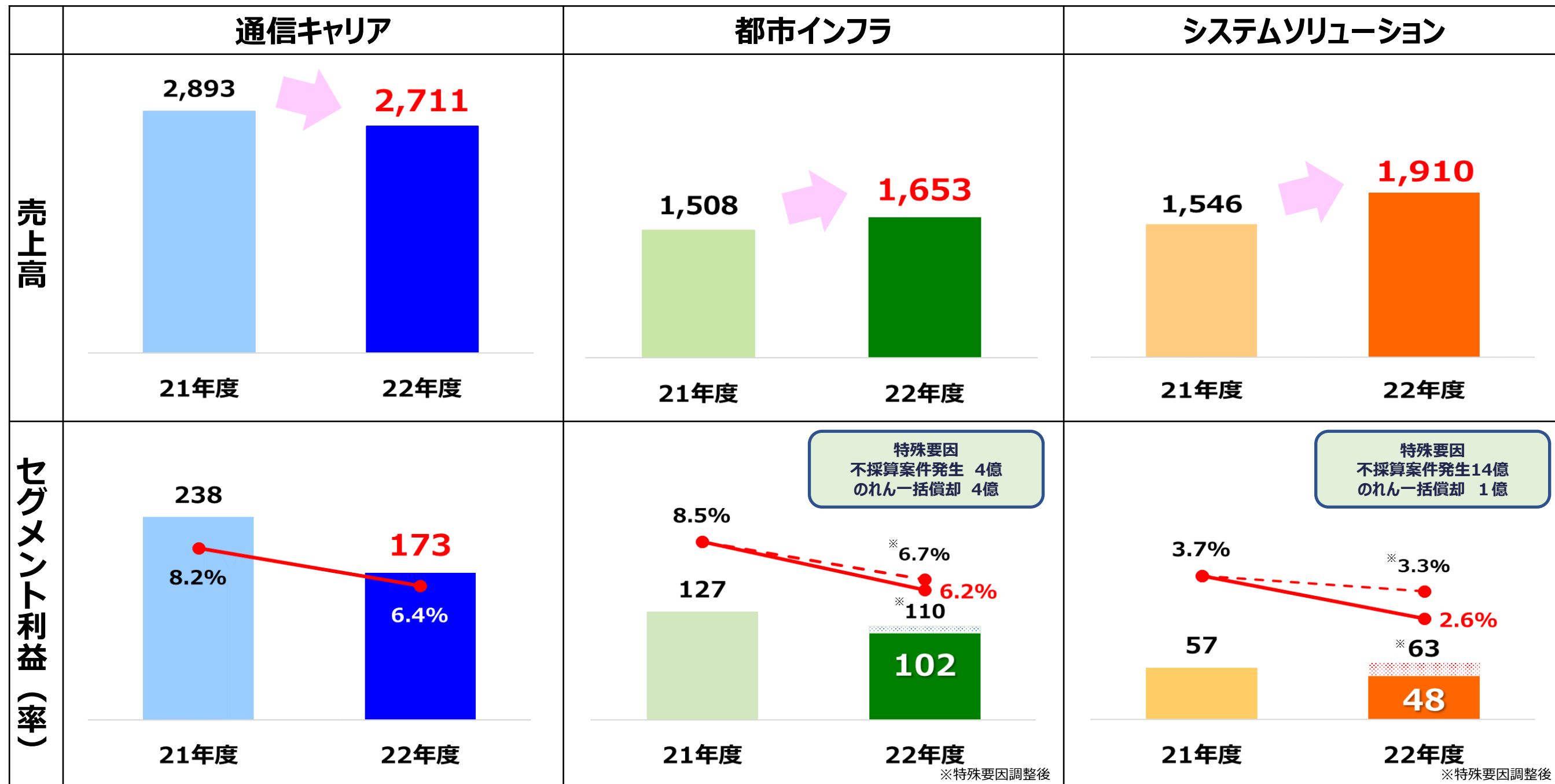
■ 営業利益

(単位：億円)



／（４）業績ハイライト（セグメント別状況）

（単位：億円）



2. 2023年度通期計画

／ (1) 計画サマリー

都市インフラ・システムソリューションの拡大により引き続き増収の計画

資材高騰などの要因がある中、構造改革をさらに推し進めることで収益性を改善し、増益を目指す

(単位：億円)	2022年度	2023年度	
	実績 A	通期計画 B	前期差 B-A
受注高	6,256	6,200	▲56
売上高	6,276	6,300	+24
営業利益	(5.2%) 325	(5.4%) 340	(+0.2P) +15

／（２）計画サマリー（セグメント別状況）

（単位：億円）

	通信キャリア	都市インフラ	システムソリューション
売上高	2,711 → 2,404 22年度 23年度計画	1,653 → 1,863 22年度 23年度計画	1,910 → 2,033 22年度 23年度計画
セグメント利益（率）	173 6.4% → 143 6.0% 22年度 23年度計画	102 6.2% → 105 5.7% 22年度 23年度計画	48 2.6% → 90 4.5% 22年度 23年度計画

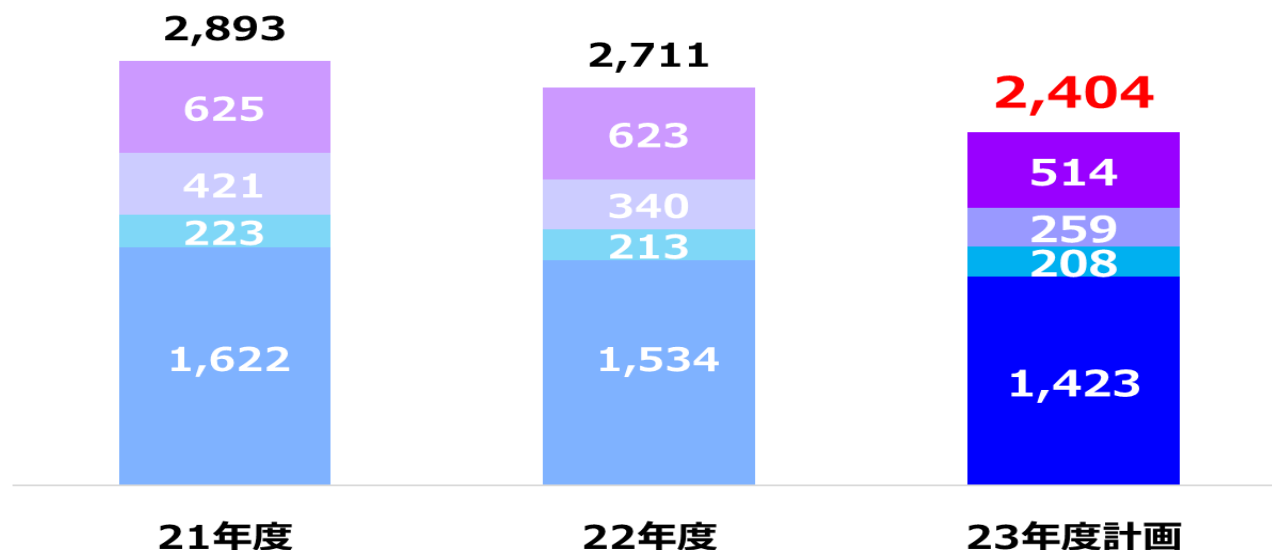
3. セグメント別取り組み

／（１）通信キャリア

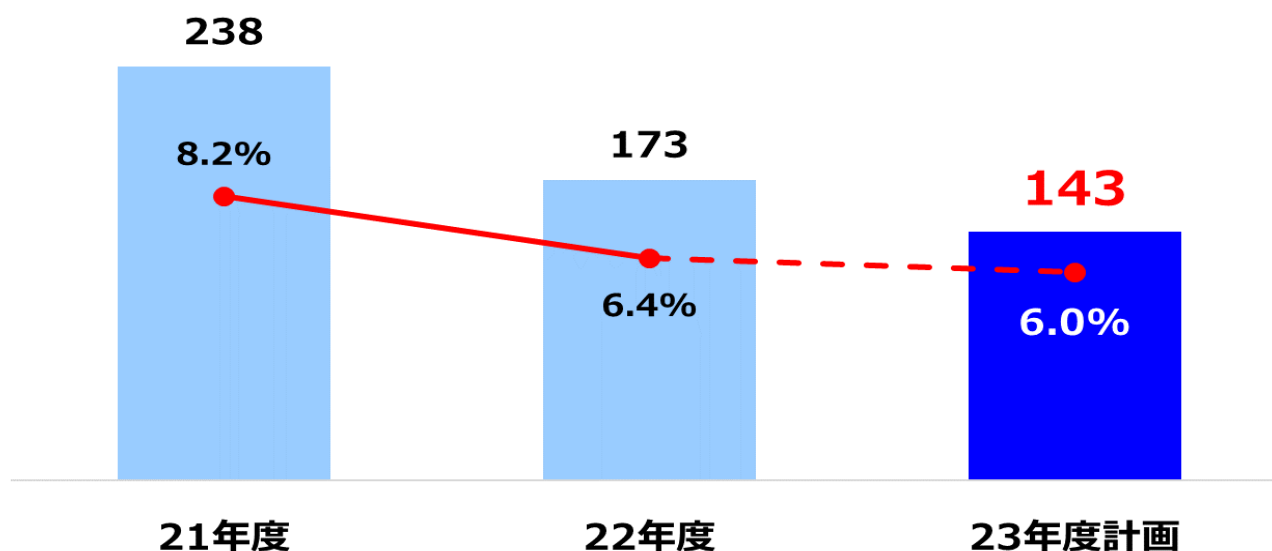
■ 売上高の推移

（単位：億円）

■ アクセス ■ ネットワーク ■ モバイル ■ NCC



■ セグメント利益の推移



23年度計画

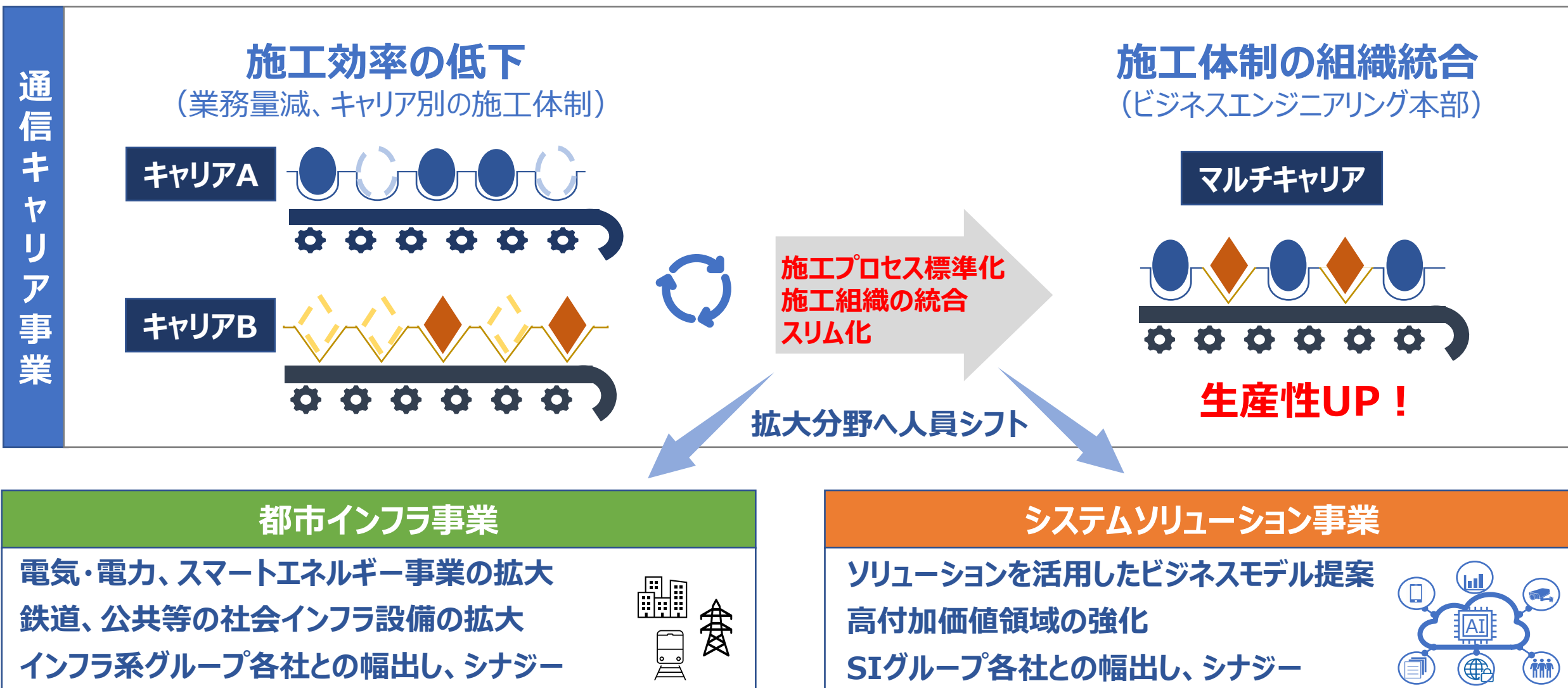
通信キャリア各社の投資抑制傾向は継続を想定。減収減益となるがグループ全体の構造改革により減益幅の圧縮に努める。

主な取り組み

- ・業務量に合わせた体制のスリム化と成長分野への要員シフト
- ・業務の標準化・平準化による生産性向上
- ・AIやオフショアなどによる業務改善の推進

／（１）通信キャリア ～構造改革2.0～

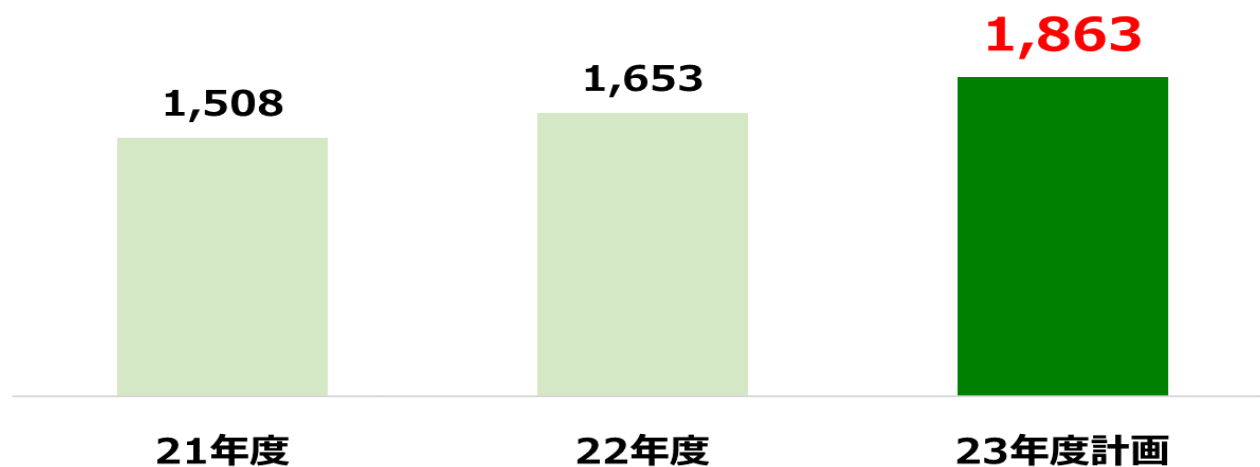
通信キャリアの急減速に対応するため、組織の生産性向上を加速する「**構造改革2.0**」を実施する



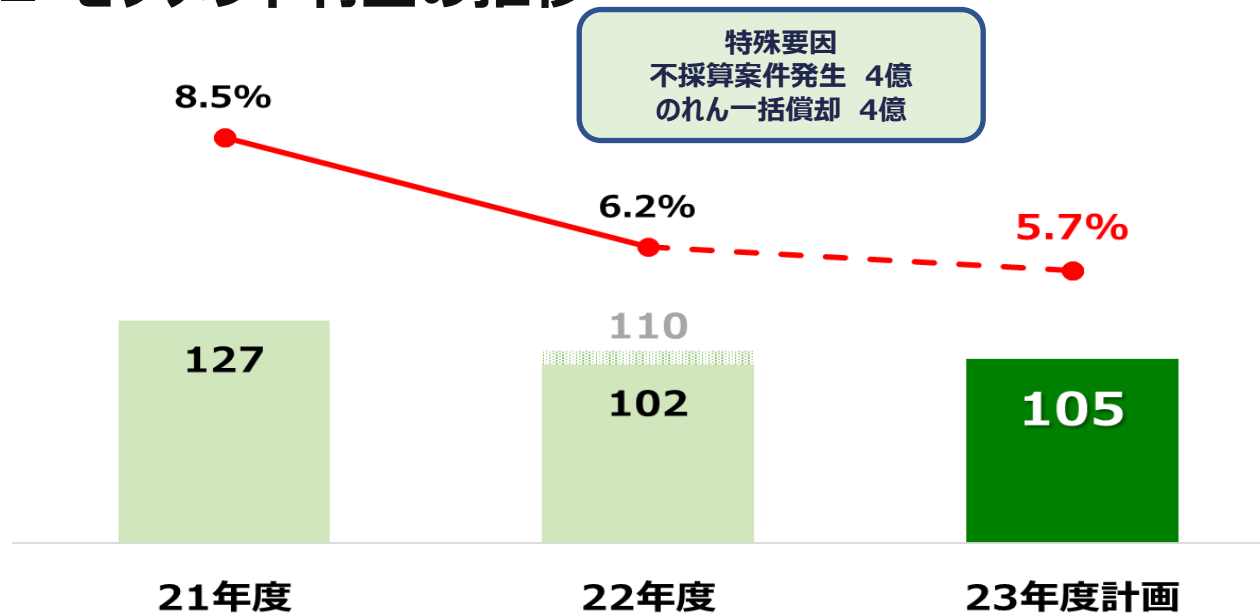
／（２）都市インフラ

■ 売上高の推移

（単位：億円）



■ セグメント利益の推移



23年度計画

好調なエネルギーユニットを中心に積極的に事業拡大。材料費やエネルギー価格の高騰を織り込むも、利益改善の取り組みを継続。

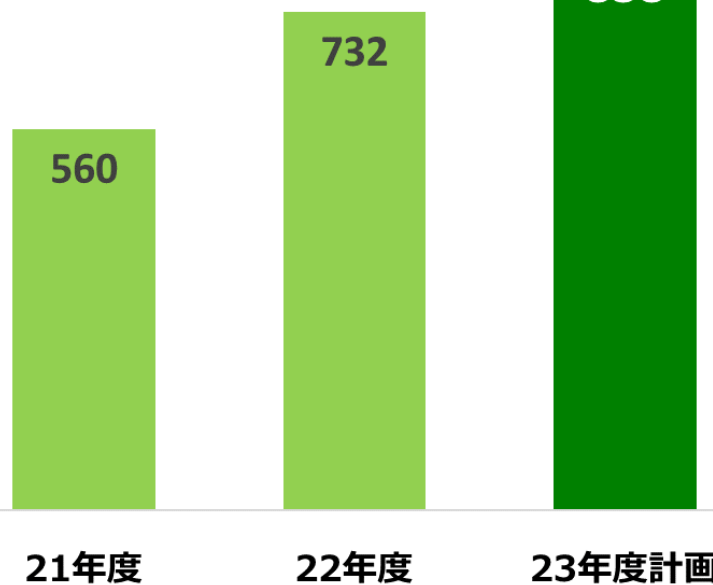
主な取り組み

- ・蓄電池・EV等の新たなエネルギー市場拡大に応じた体制強化
- ・洋上風力事業（自営線土木工事）へ挑戦
- ・オフショアやBIM/CIMを活用した設計・積算業務の改革

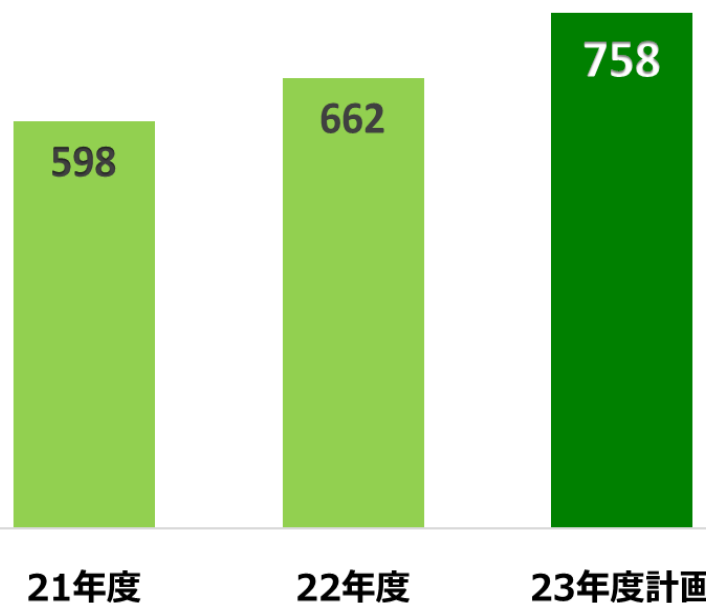
■ 売上高の推移

（単位：億円）

・エネルギー （電気、環境、再エネなど）



・公共基盤 （鉄道通信、都市土木など）

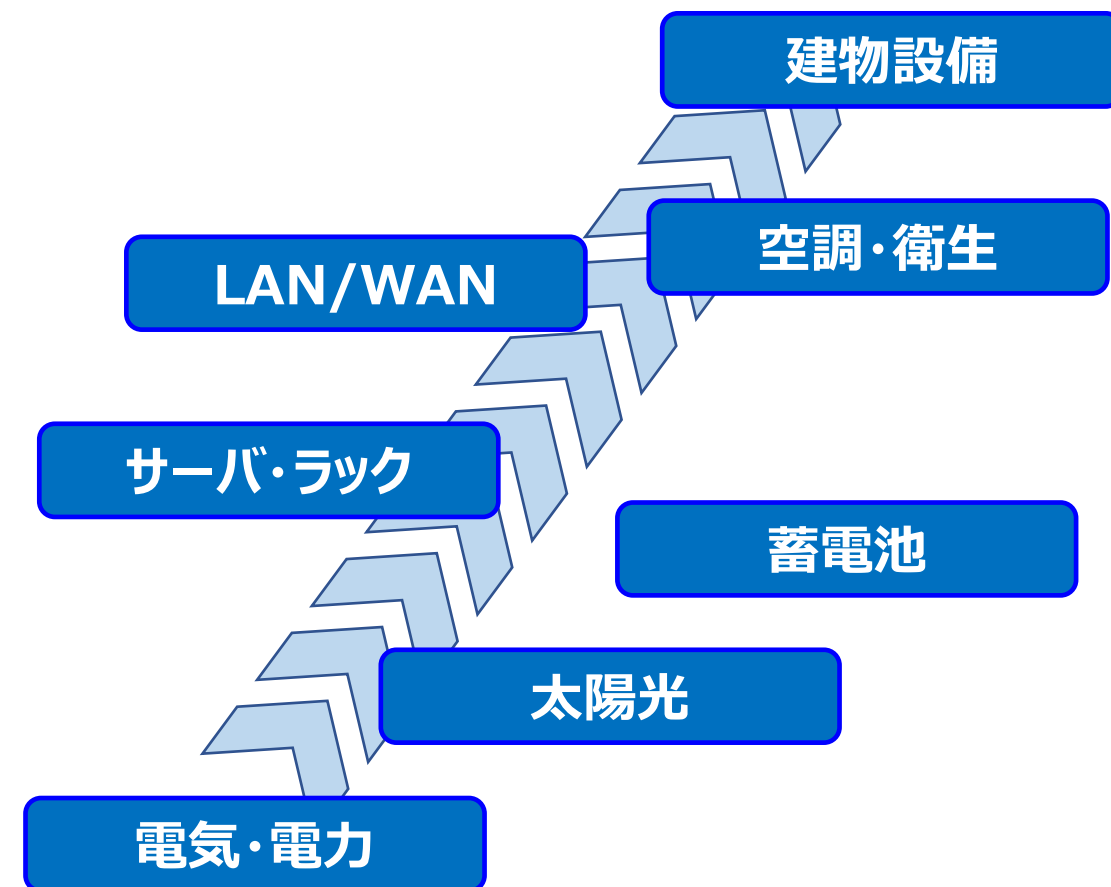
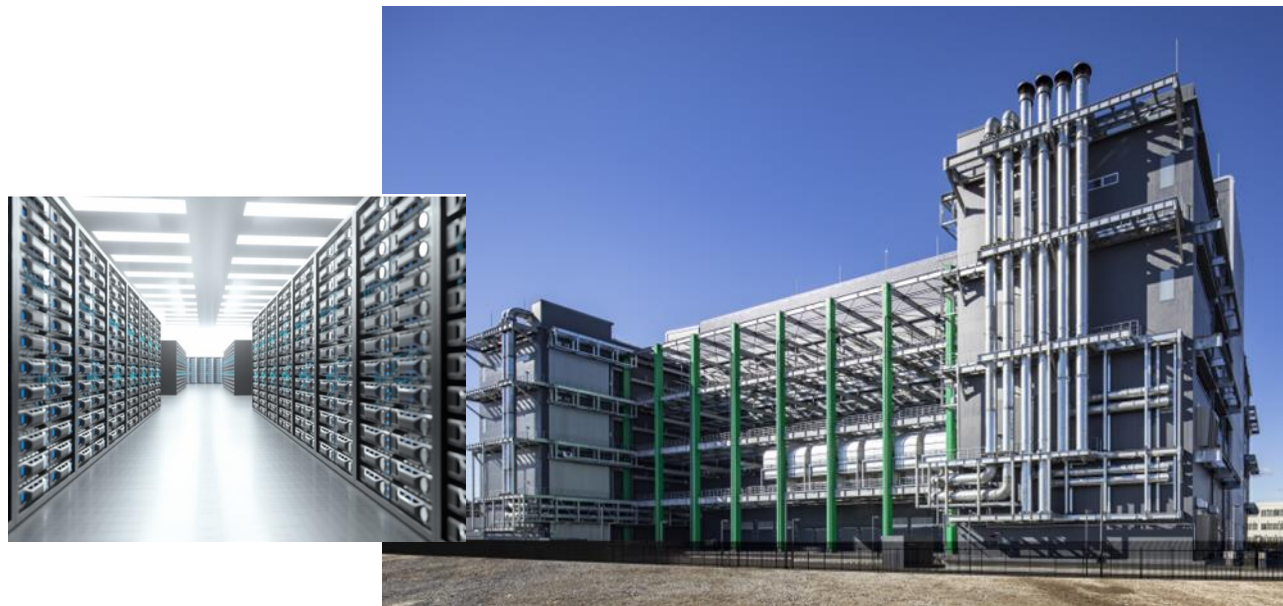


・施設基盤 （700MHz、ローカル5G設備など）



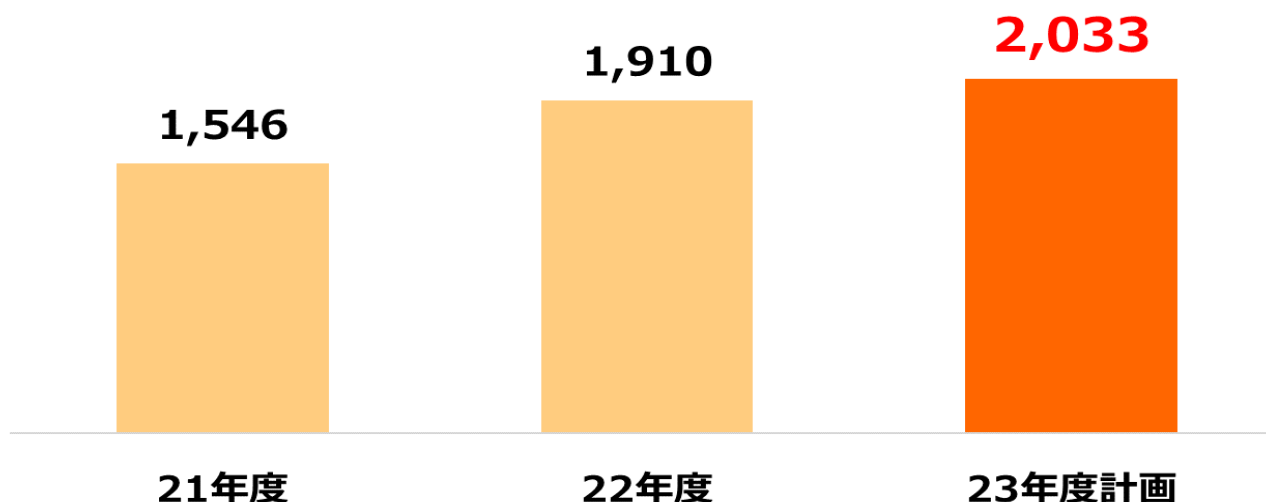
／（２）都市インフラ（エネルギーユニットからの展開）

データセンターを中心としたエネルギーユニットから、周辺領域への幅出しを狙う

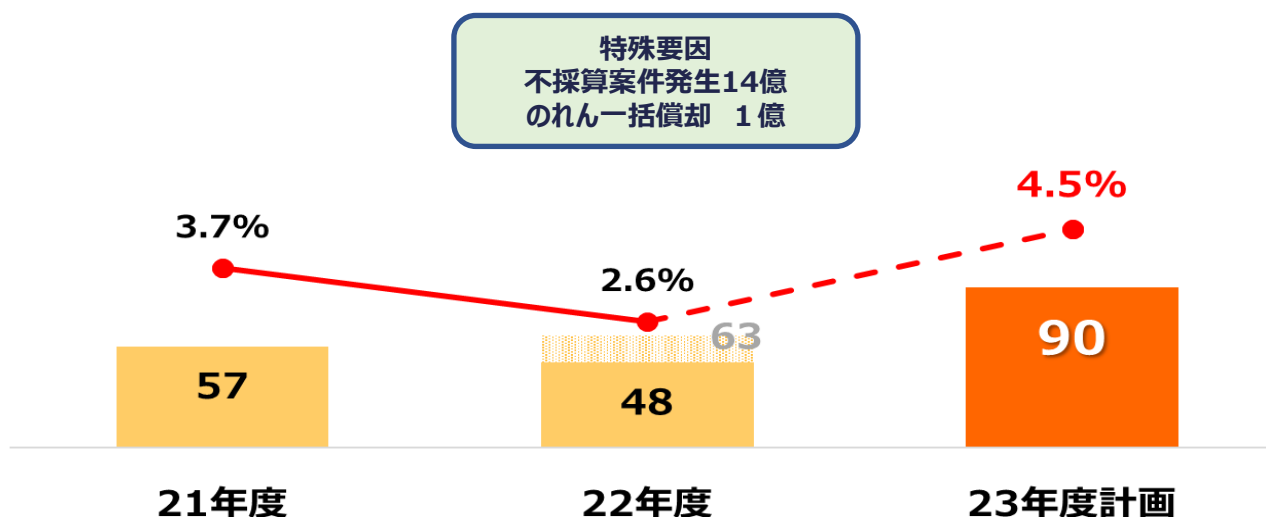


■ 売上高の推移

(単位：億円)



■ セグメント利益の推移



23年度計画

人財確保と体制強化を推進し採算性の高い事業領域へリソースを積極投入。事業拡大と同時に収益性のさらなる向上を図る。

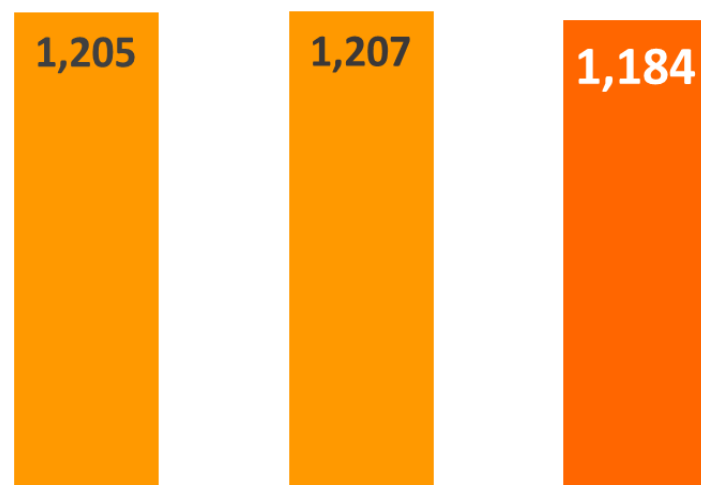
主な取り組み

- ・IT中核2社（EDS・ESM）再編によるスケールメリットを生かした生産性向上
- ・保守運用機能強化によるマネージドサービスの拡大
- ・グローバルにおけるリファーマービッシュビジネスの拡大と国内展開

■ 売上高の推移

(単位：億円)

・情報システム (受託開発、サーバ構築等)



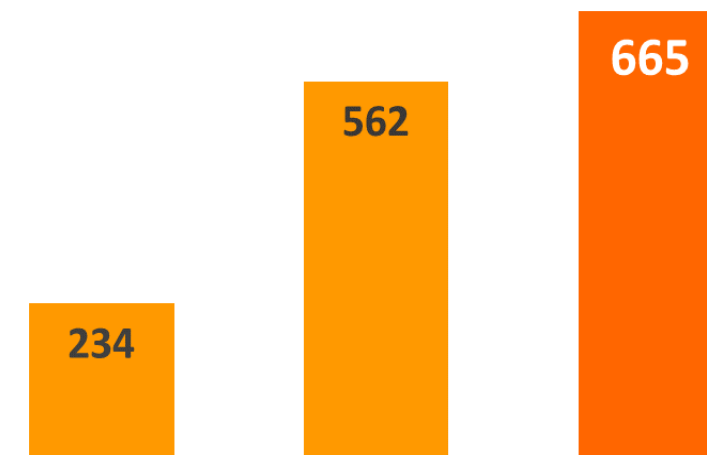
21年度 22年度 23年度計画

・サービス (保守・運用等リカーリング)



21年度 22年度 23年度計画

・グローバル

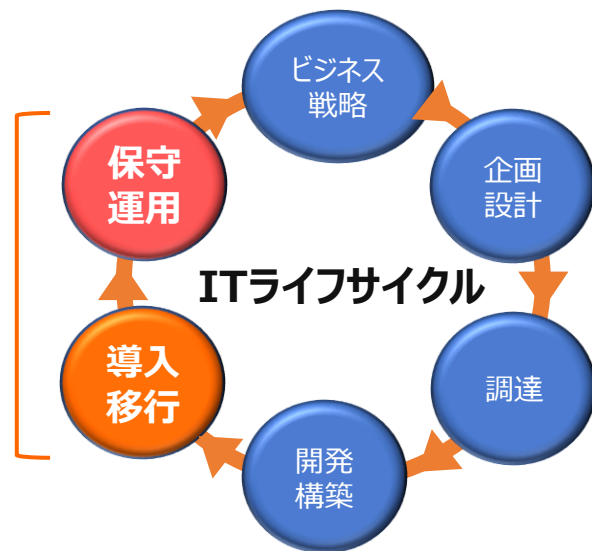


21年度 22年度 23年度計画

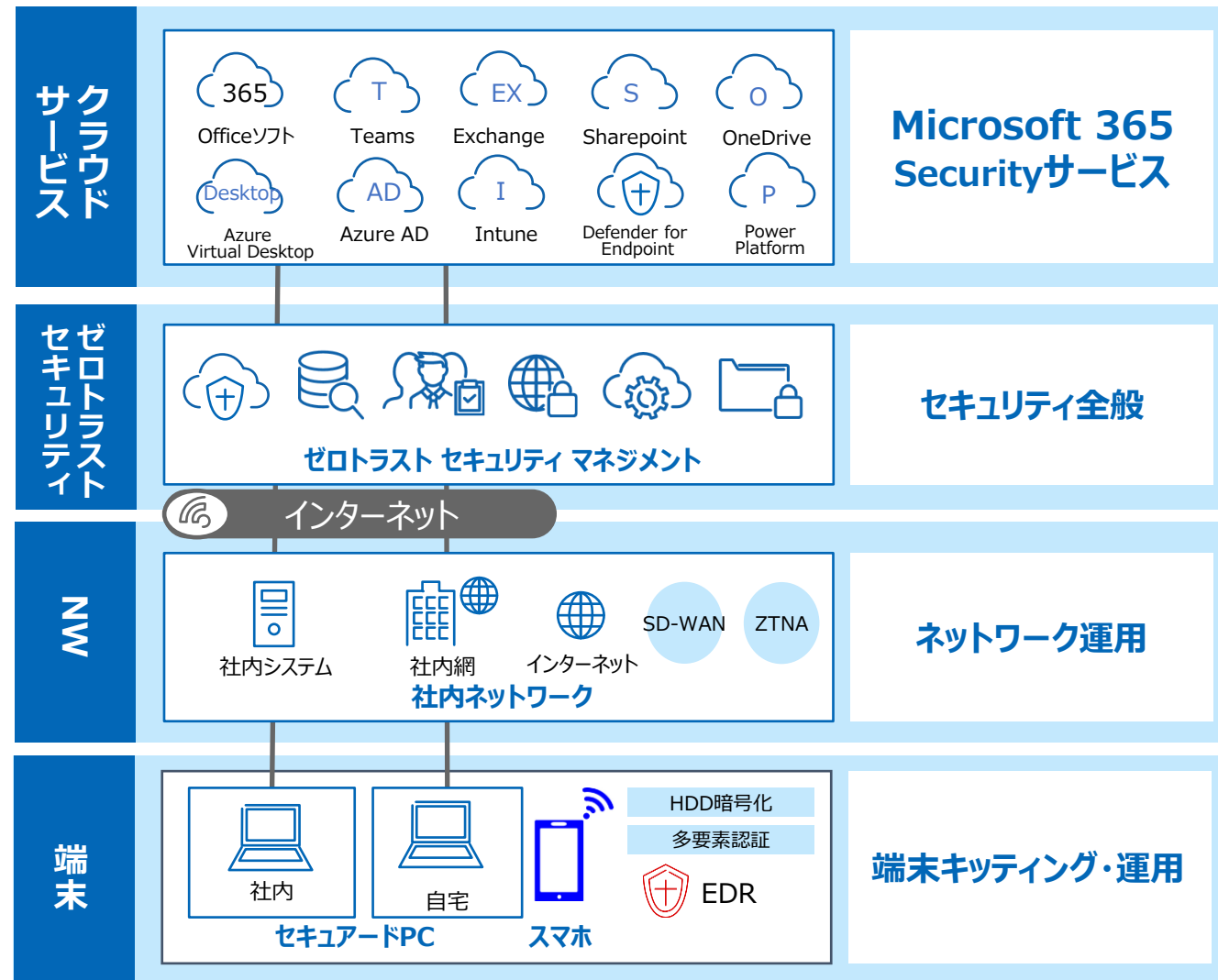
／ (3) システムソリューション (マネージドサービスの取り組み)

開発・構築で培ってきた技術を生かしマネージドサービスを拡大
ソリューションプロバイダを目指しビジネスモデルの変革に挑戦

マネージドサービス



- ・利用者サポート
- ・保守サポート
- ・運用管理
- ・端末キitting・管理

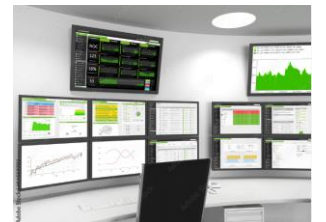


IT統合運用サービス



サポートデスク

Network Operation Center
Security Operation Center



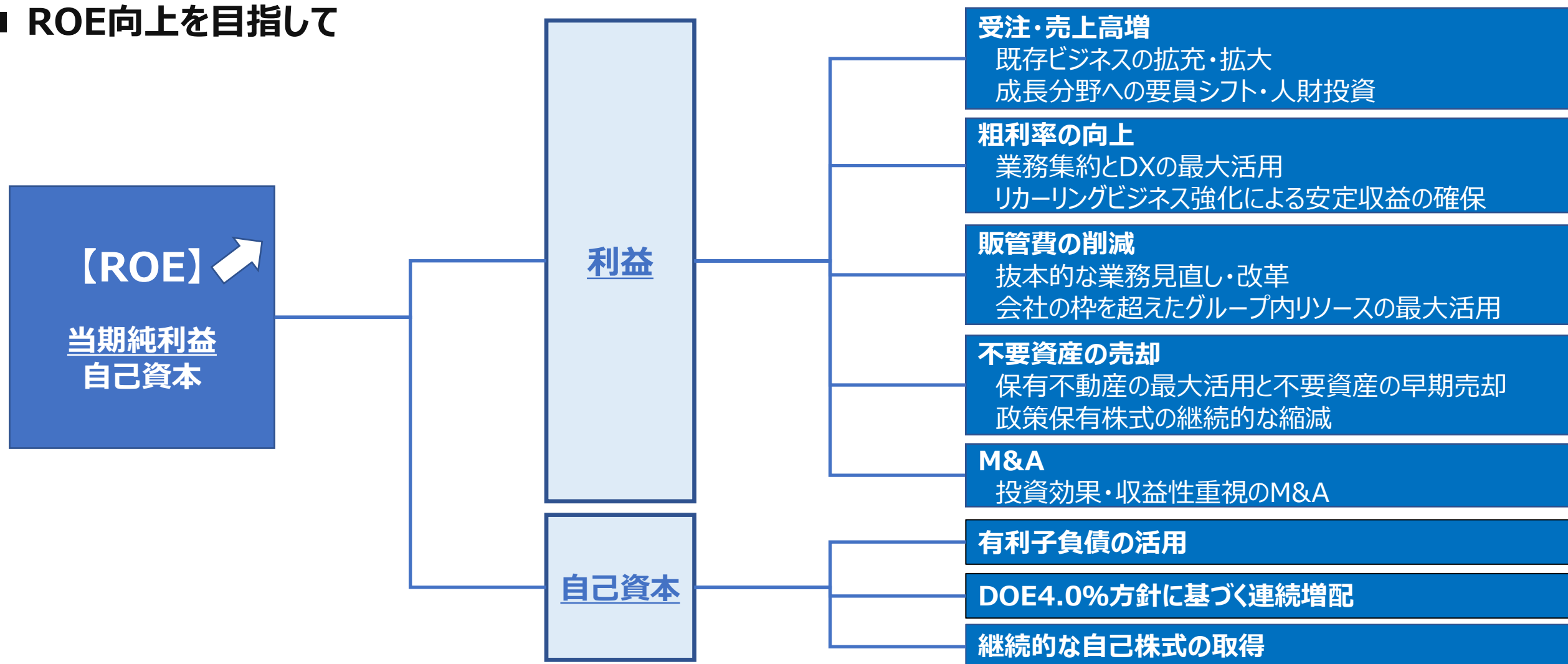
キittingセンター

4. 企業価値の向上を目指して

／（１）企業価値の向上に向けて（ROEの向上）

中期経営計画で掲げるROE 9.0%以上に向けて持続的な成長を追求
資本コストを上回る成長を続けることで企業価値向上につなげる

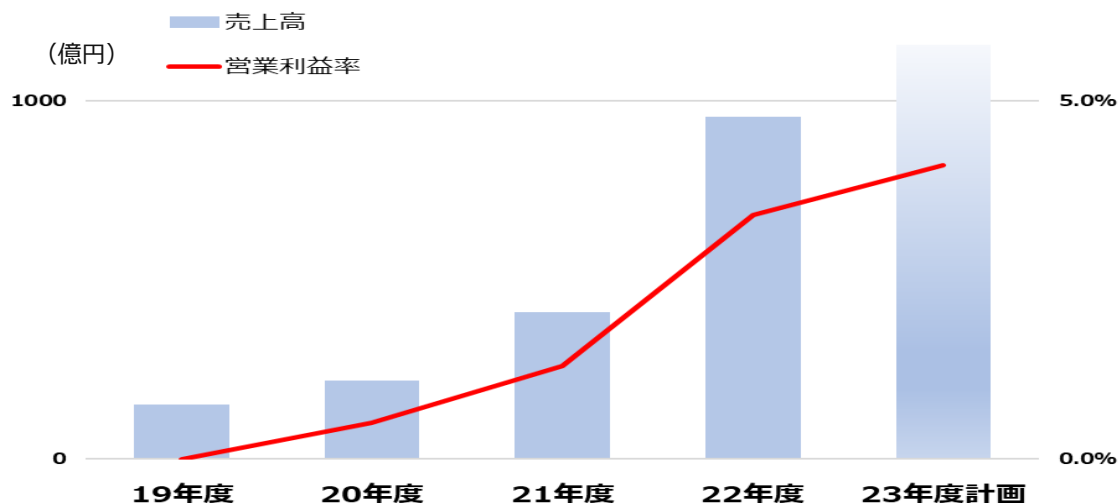
■ ROE向上を目指して



積極的なM&Aを継続、規模の拡大とともにさらなる収益性の向上も図る

■ M&Aした子会社の業績

※2018年度以降グループ入りした子会社の集計。ただし西日本3社グループを除く。



■ 2022年度の主な投資実績

会社名	領域
(株)イセキ開発工機	都市インフラ
Procurri Corporation Ltd.	システムソリューション(グローバル)
サンデンシステムエンジニアリング(株) ※	システムソリューション
(株)サンエツ	都市インフラ
Telistar Solutions Pte Ltd.	システムソリューション(グローバル)

※エクシオ・コアイノベーション(株) に社名変更

■ M&A方針

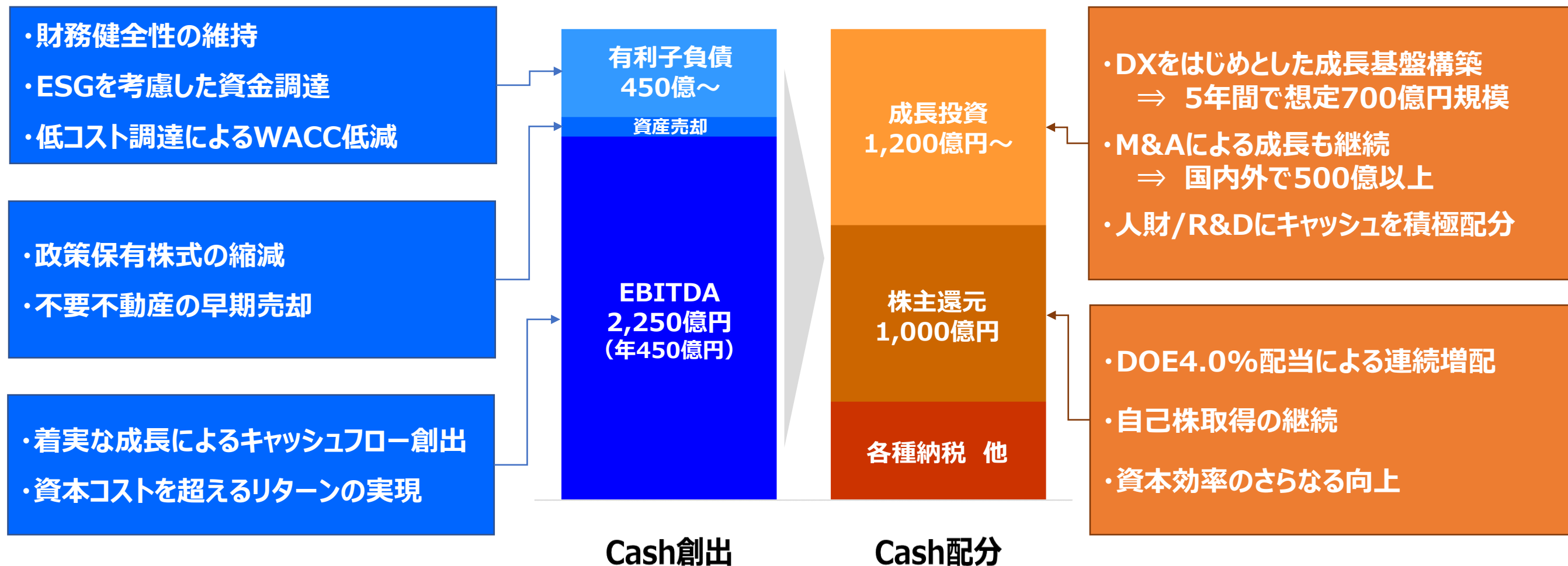
- ・2030年目指す事業ポートフォリオに向けた戦略的M&A先の発掘
- ・投資効果、収益性を意識した投資先選定とモニタリング体制構築
- ・政策保有株式の売却による資産ポートフォリオの再構築

事業分野	主な目的
都市インフラ	・エネルギー事業強化 ・リニューアル事業開拓 ・事業規模拡大
システムソリューション	・マネージドサービスの加速 ・リファーマービッシュビジネス展開 ・先駆的技術獲得 ・地域拠点化/オフショア活用

／ (3) キャッシュアロケーション方針

創出キャッシュを有効活用するとともに、有利子負債を活用しながら、企業価値向上を実現

■ キャッシュアロケーション方針（2021年度～2025年度累計）



／（４）ESG経営の実践（マテリアリティ）

サステナビリティ経営強化に向けてマテリアリティを特定

2030ビジョン

“Engineering for Fusion”

～社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ～

課題抽出

マテリアリティを特定

特定プロセス

- ① ロングリスト作成（GRIスタンダード、SASB等参照）
- ② スコアリング／ワークショップ（優先順位付け）
- ③ 社外ステークホルダー、社外役員ヒアリングによる妥当性検証
- ④ 経営会議、取締役会の承認

目指す4つの社会

カーボン
ニュートラルな
社会

健康で生き生きと
暮らせる
スマートな社会

グローバルで
多様性を享受する
社会

貧困・格差が
解消される社会

マテリアリティ

特定結果



／（４）ESG経営の実践（マテリアリティ）

価値創造

“つなぐエンジニアリング”による社会課題の解決

- 【E】カーボンニュートラルな社会の実現
- 【E】サーキュラーエコノミーへの貢献
- 【S】社会の基礎となるインフラの構築と保全
- 【S】地域コミュニティへの貢献と良好な関係づくり
- 【S】建設DXの推進



価値創造の 基盤

多様な人財が活躍できる環境づくり

- 【S】価値創造を担う人財の育成と登用
- 【S】働くすべての人の安全と健康
- 【S】ダイバーシティの尊重といきいきと働ける職場づくり
- 【S】DXの推進による生産性の向上



イノベーションを生み出す企業文化の醸成

- 【S】未知への挑戦と技術の研鑽の奨励
- 【S】グループとしてのブランド価値の確立
- 【S】グローバルプレイヤーとしての新たな可能性の開拓
- 【S】多様なパートナーとの連携と協働



公正で透明性の高いガバナンス

- 【G】ガバナンスの健全性・透明性の確保
- 【G】リスクマネジメントとコンプライアンスの徹底
- 【G】ハードと人の両面での情報セキュリティ強化
- 【S】人権の尊重



【E】環境
【S】社会
【G】ガバナンス

環境関連事業を通じて、社会課題を解決

■ 木質バイオマス発電



バイオマス発電所（古殿町）

足利エコパーク



■ 営農型太陽光発電



実証施設（東松山市）



■ 廃棄物処理施設（包括運営）



運営・監視設備

／（４）ESG経営の実践（グローバル：リファーマビリティビジネス）

カーボンニュートラルへの取り組みとリファーマビリティビジネスを結合、拡大を目指す

■ リファーマビリティビジネス

3. 現状調査

既存IT設備の現場調査および点検作業の実施

4. 保守サービス

SLAに基づく製品復旧対応、交換対応の提供

2. 製品提供

機器の提供および設置
カーボンニュートラルPC提供開始

5. 適切な処理

IT機器の回収、廃棄処理の実施、データ消去サービス

1. 調達

新品、リユース品、新古品をグローバルで調達

6. リサイクル

機器のリサイクルおよびお客様への再販売



カーボン・フットプリント・スタンダード
Carbon Footprint Ltd.社 による低炭素資格を証明する国際的基準

「カーボン・ニュートラル組織」に認定

「カーボン・ニュートラル・プラス組織」に認定



Carbon
Neutral
Organisation

PROCURRI



Carbon
Neutral
Organisation

カーボン・フットプリント・スタンダードにより認定された「カーボンニュートラル認定ノートPC」の提供
購入したお客様は、ノートPC1台あたり 約316 kgのCO2排出量を削減と報告可能



Carbon
Neutral
Product



英国等のお客様

ProcurriおよびCircular Computingによる再製造(Remastered)ノートPCの環境保護効果
・ノートPC1台あたり、約316kgのCO2排出を防止（PC1,000台で自動車80台の1年分に相当）
・19万リットルの節水 ・1,200 kgの地球資源保護 等

／（４）ESG経営の実践（その他）

その他各種取り組みも継続、外部評価も獲得

- **MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 採用銘柄**
MSCIが日本の時価総額上位700銘柄から、ESG評価に優れた企業を選別して構築

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

- **「D&I Award 2022」最上位「Best Workplace for Diversity & Inclusion」を受賞**
Job rainbowが策定した、企業の多様性推進を可視化する指標「ダイバーシティスコア」により認定



- **「PRIDE指標2022」にてシルバー認定を取得**
任意団体「work with Pride」が策定した、職場におけるLGBTQなどのセクシャル・マイノリティに関する取り組み評価指標



- **CDPから、気候変動に対する取り組みや情報開示が優れた企業として「B」評価認定**
CDP は、ロンドンに本部を置く環境評価の情報開示に国際的に取り組む非政府組織（NGO）で、企業の取り組みを8段階で評価する
「B」評価は上位から3番目

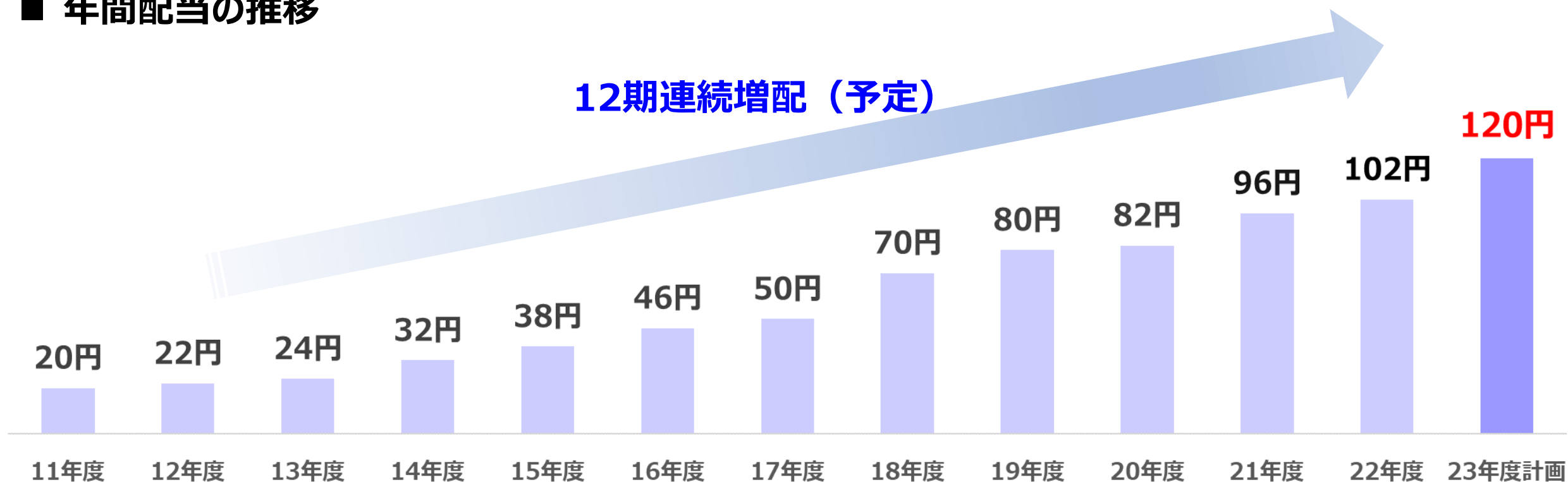


5. 株主還元

／ (1) 配当、自己株式取得

23年度より配当方針をDOE4.0%基準に変更し、12期連続増配を予定（23年度年間120円）
自己株式取得も継続的・機動的に実施

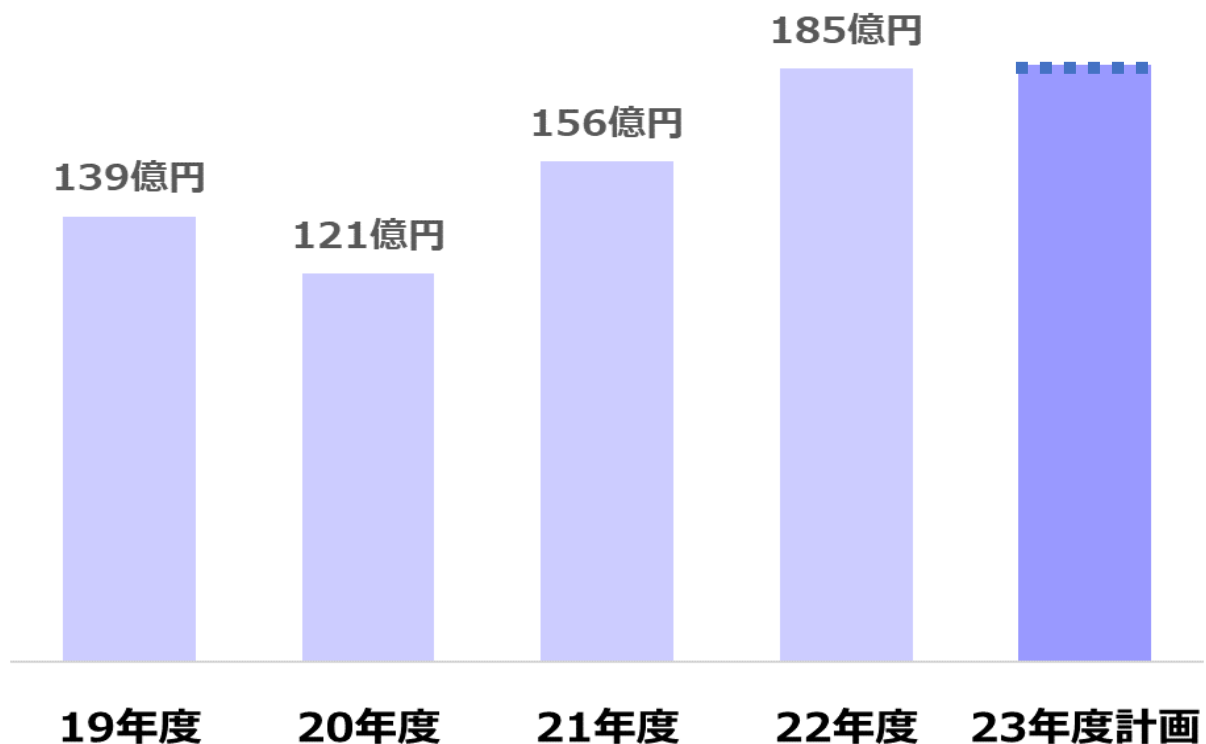
■ 年間配当の推移



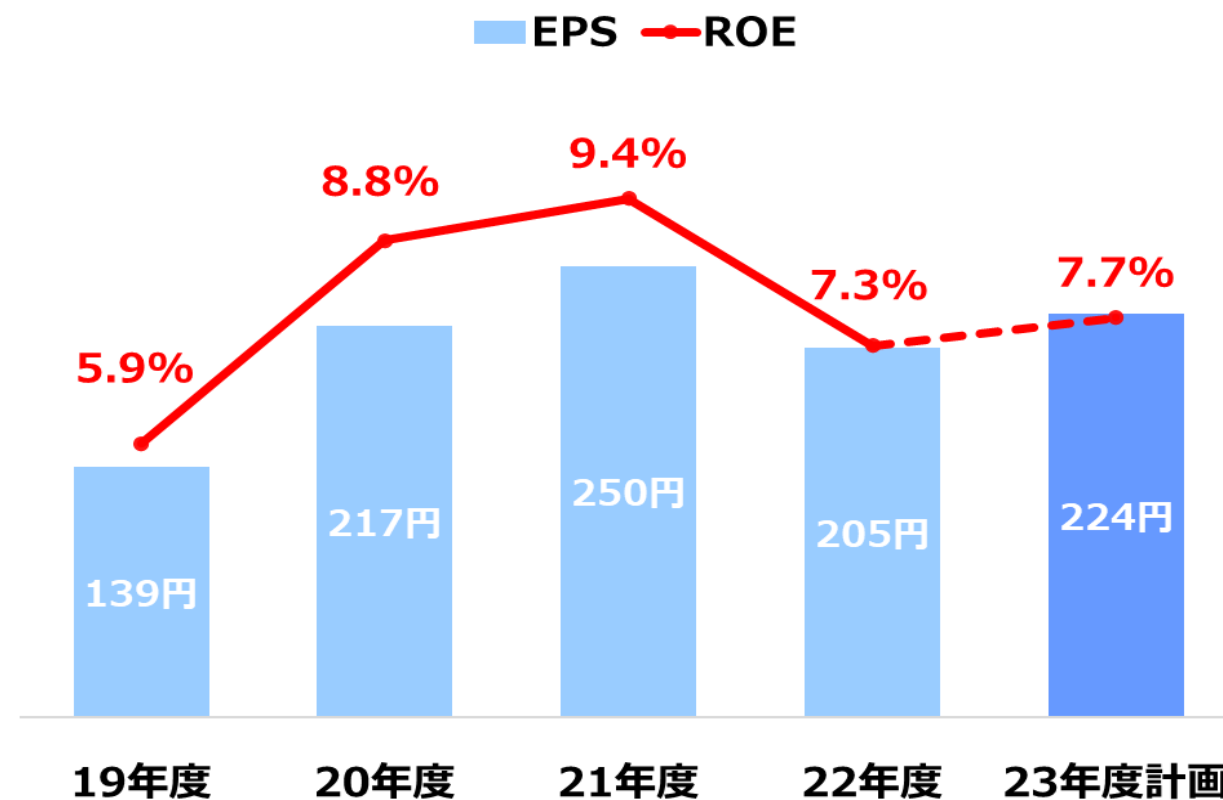
／ (2) 総還元額、ROE・EPS

連続増配と継続的な自己株式取得により株主還元を充実
中期経営計画達成に向けて引き続き資本効率を意識した事業運営に取り組む

■ 総還元額



■ ROE・EPS



6. トピックス

／ (1) ニュートラルホスティングの拡大

グループ会社でインドネシアに本社を置く海外子会社 PT dhost 社が同国内における屋内通信インフラシェアリングサイト数1,500局を超え、最大規模のリーディングカンパニーに



ショッピングモール外観



施工写真



設置機器

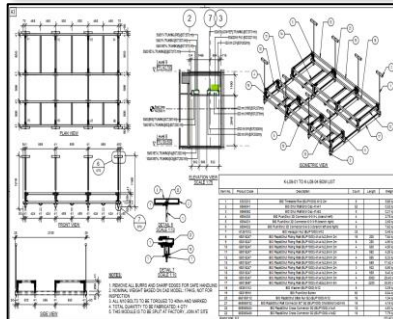


屋内アンテナ

／ (2) DfMA工事への取り組み

次世代の施工手法である“DfMA（Design for Manufacture and Assembly）”を海外事業において展開
海外子会社のWinner社がシンガポール政府より“**PREFAB MEP SPECIALIST**”として正式認定

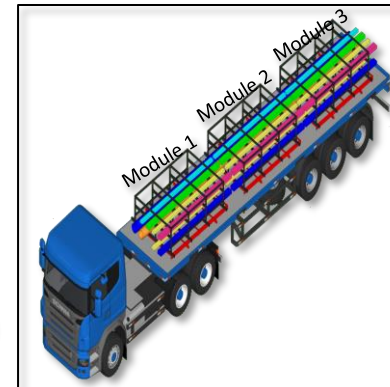
DESIGN



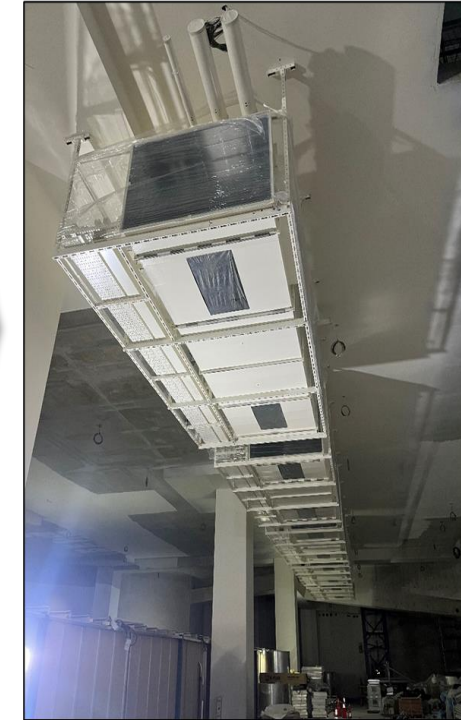
MANUFACTURING



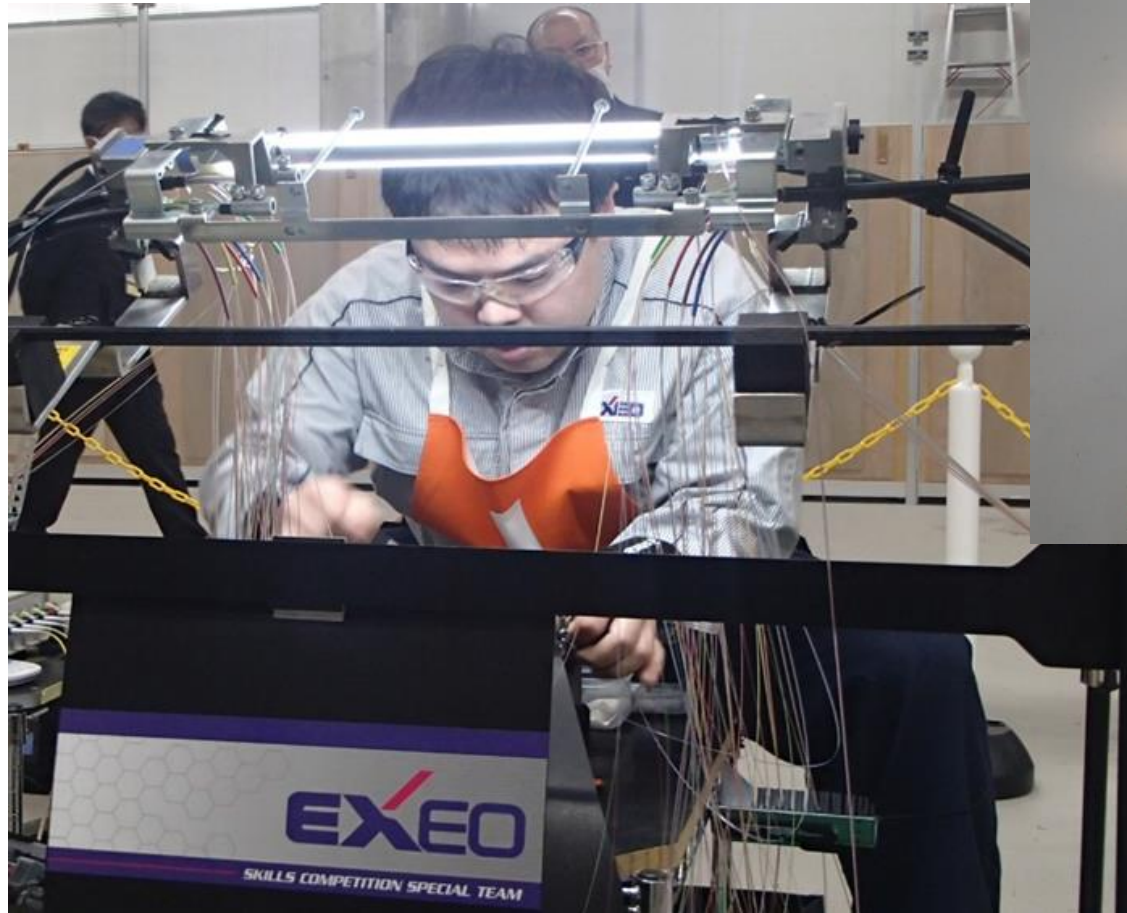
DELIVERY



INSTALLATION



第61回技能五輪全国大会予選会で「光接続スピード競技」の世界記録を更新！



村田社員他5名が本年11月に愛知県にて開催の
第61回技能五輪全国大会本選への出場権を獲得

■ 注記事項

本資料に掲載している将来の見通しや業績予想等につきましては、当社が発表日現在において認識および入手している情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想と大きく異なる場合がありますのでご注意ください。

【お問合せ先】
エクシオグループ株式会社
経営企画部
コーポレート・コミュニケーション室 I R 担当
酒井、徳田、牛尾
TEL 03-5778-1073
MAIL exeo.ir@en2.exeo.co.jp

Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ

